

## 米国企業編

※折れ線グラフは純利益の推移  
※金額の単位は百万ドル

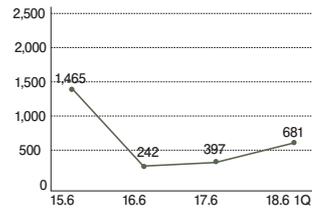
順位	企業名	ティッカー	業績	株価	合計
1	Amazon	amzn	4.5	4.5	9
2	グーグル	googl	3.5	4	7.5
3	マイクロソフト	msft	3	4	7
3	ウエスタンデジタル	wdc	5	2	7
5	アップル	AAPL	2.5	4	6.5
6	アイロボット	irbt	2	2.5	4.5
7	DELL	dvmt	0	4	4
8	ヒューレットパッカード	hpe	0.5	3	3.5
9	GoPro	gpro	0	1	1

## アジア編

※折れ線グラフは純利益の推移  
※金額の単位は10億ウォン

順位	企業名	業績	成長率	ROE	安全度	合計
1	サムスン	5	1	4	5	15
2	ハイアール	2	5	5	2	14
2	ファーウェイ	2	5	5	2	14
4	ハイセンス	1	3	2	4	10
5	ZTE	1	5	1	2	9
6	ASUS	1	1	2	4	8
7	HTC	1	1	1	4	7
8	LG	1	1	2	2	6
9	ACER	1	1	0	2	4

## ウエスタンデジタル 米国企業 3位



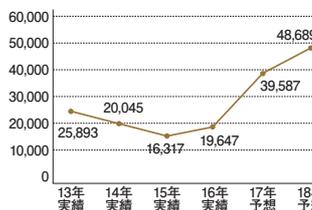
### メモリ事業で好調ながら 東芝との法廷闘争の影響も

メモリ市場全体が上向いていることで、業績は順調に推移。ただし、合併パートナーである東芝との子会社売却に関する協議で、和解はしたものの不透明感から株価の推移は軟調気味。

会社予想利益	項目	金額
売上高	455,000	
営業利益	70,000	
税引前利益	72,300	
純利益	51,000	



## サムスン電子 アジア企業 1位



### ウォン高も苦にせず 1位の業績は好調のまま

ウォン高の悪影響を受けつつ、メモリ事業の安定感から業績も好調。そのほか、有機ELも業績を牽引する傾向に。iPhoneの下方修正により直近の株は売られているが、むしろ買いの好機だ。

会社予想利益	項目	金額
売上高	269,000	
営業利益	66,294	
純利益	48,689	
1株益	359,848	



この人たちに  
分析して  
もらいました



フェアトレード株式会社  
田村祐一氏



グローバルリンク  
アドバイザーズ株式会社  
代表取締役社長  
戸松信博氏

日本・米国企業は田村氏、  
アジア企業は戸松氏に  
分析していただいた

# 業績、好調でした

今後の伸びにも期待できる  
優良メーカーたち

ブランドパワーランキングと題し、全100ブランドのブランド力を入念に期待度なども踏まえてランク付けした本企画。そのなかの上位20位までを紹介してきたが、実は上位に選ばれていなくても、業績自体は比較的好調なブランドも存在している。

まず日本企業で見ると、電子部品やヘルスケア製品などを展開する「オムロン」、国内最大手の電動工具メーカー「マキタ」、カメラ用レンズを手がけ、最近ではドローン用のレンズにも注力している「タムロン」、工作機械や産業用機器、一般建材や家庭用機器も取り扱う「山善」などのブランドが伸びている。設備投資の活発化や国内における建築需要の増加など、自社の事業と関係のある分野の盛り上がり、業績を大きく上げる要因となった。

続いて海外企業を見ていくと、ハードディスクやフラッシュメモリー関連の製品を製造しているアメリカのメーカー「ウエスタンデジタル」や、韓国最大の財閥にして家

電製品や電子部品、建設事業など多岐にわたる関連企業を束ねる「サムスン」は、業績の良い、儲かっているブランドだといえる。ともにメモリ市場全体の好調を受け、ウエスタンデジタルについては、合併パートナーである東芝の子会社売却に関する協議により、若干の不快感を抱かれました。ただ、メモリは今後も必要とされていく市場のため、巻き返しに注目だ。

今回各ブランドを分析した識者によると、ここで紹介した6ブランドは現状調子が良いというだけではなく、これからますます伸びていく見込みだという。企業努力もさることながら、上手く時代のニーズとマッチした事業展開ができていくことも、その要因となっていることは間違いないだろう。

ユーザーへの影響力を測るブランドパワーランキングでは上位にこないため、見えづらいが元気のいいメーカーはこのようにたくさんあった。ぜひとも各ブランドには、このまま人気も実力も身に付けたブランドになっていくことを期待したい。